

集落座談会
各地で

景観を整えた
農業地域の形成へ

河内長野市

と収入の安定。結果、
便利の悪い農地が耕
作放棄地になってし
まうことが課題に挙



天野地区座談会の様子

河内長野市環境経済部農
林課と農業委員会(垣内俊
夫会長)は8月26日の河内
長野市川上地区を皮切りに、
9月9日までに4地区で集
落座談会を開催。
天野地区座談会では、市
が地域計画の趣旨・目的を
説明、参加者が①農業をす
る中での地域の現状と課題
②目指したい地域の将来の
在り方③実現するために必
要なことを全員で各項目に
ついて意見交換した。
主な意見として、①水路
の老朽化と水利組合員の減
少②ため池の法面の草刈り
が危険③販売ルートの確保

ケーススタディを基に座談会

熊取町

熊取町住民部産業振興課農業
振興グループと農業委員会(七
里英二会長)は、町内の農地が
狭小・不整形等で営農環境が悪
く、担い手がない地区におけ
る計画策定のケーススタディと
して、泉州農と緑の総合事務所

と連携し、課題解決策の模索と
地区への提案に向け2地区で集
落座談会を開いた。1つは成合
地区で第1回…2月18日、第2
回…8月26日。もう1つは高田
地区で第1回…2月2日、第2
回…7月17日に開催した。

両地区ともワークショップ形
式で開催。参加者が地域の課題
や解決策、将来像を話し合い、そ
の内容を町が集約し、地域計画
案として取りまとめた。
特に、第1回目で課題として
あがった鳥獣被害対策について、
熊取町猟友会と調整し、同猟友
会の協力を得て捕獲等を行うな
どの文言を追加するなどを行い、
第2回目を開催した。

入作・新規就農者の受入も必要

第2回「協議の場」を開催

四條畷市

四條畷市地域振
興課と農業委員会
(中西久雄会長)
は9月5日に上田
原地区で、12日に
逢阪地区で、それ
ぞれ第2回「協議
の場」を開催した。
座談会では、市
から委託を受けた
コンサル会社より
冒頭に第1回の振
り返りとして地域
計画制度の概要に
ついて説明がなさ
れた。次いで参加
者による話し合い
が行われ、①各
自の農地の現状
や問題点及び今
後の耕作の意向

について②各農家の経営上の
課題、地区としての課題③地
区農業の将来のあり方、以上
の3点について次のような活
発な意見交換がなされた。
①については、農地の利用
状況を航空写真上に色分けし
た地図を見ながら、各自の農
地の現状や営農条件及び今後
の耕作の意向について参加者
で共有。
②については、後継者がい
ない、出席した農家のうち後

継者がいるのは2軒だけである。
収穫した米の出荷先がない。出
荷先・販売先があれば経営規模
の拡大も検討できる。農業用水
路の維持管理費用の負担が大き
い。
③地区農業の将来のあり方に
ついては、他地区からの入作者、
新規就農者の受け入れについて
は地区として受け入れ体制の整
備が必要。空き家を活用してそ
の空き家に居住して地区内農地
で営農することも可能。
今回の協議の場で当該地域農
業の今後のあり方についてより
深く話し合いを行う予定である。
(横尾)



逢阪地区の座談会の様子